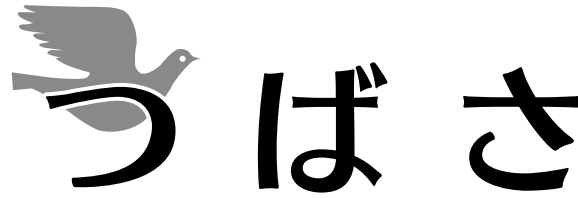


活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第47号

- 2012年9月 -

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 鈴木勝雄
連絡先 045-210-1111 (代)
神奈川県青少年課内
印刷 朝日オフセット印刷株式会社
045-511-0141

第23期理事あいさつ

青少年指導員のすすめ

県協議会会長 鈴木 勝雄



第23期神奈川県青少年指導員連絡協議会会長を、平成24・25年度の2年間、務めさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

神奈川県青少年保護育成条例が「青少年を社会全体で守り、支え、育てる」をキーワードに全面改正され、平成23年4月1日に施行されました。今回の改正で、青少年指導員の活動が条例として位置づけられました。これまでの私達の活動が認められ、また今後に期待されていると感じます。そんな中で、青少年指導員（現在委嘱数5282人）のPR方法については、これまでの県のたよりや学校へのチラシ配布等に加えて、キャッチコピー・のぼり旗等のアイデアを皆様方からいただき、今後検討していきたいと考えています。また、県のホームページ（HP）の充実を図りたいと思います。現在「青少年指導員」のキーワードで検索すると、神奈川県の青少年指導員はランキングの上位にあがっています。県HPと各市町村HPとの相互リンクをはりながら内容を拡充させることで、さらにPRができると思います。

私達の活動を「縁の下の力持ち」から一歩前へすすめることで、青少年指導員の仲間を増やし、ユースリーダーとしての役割を果たして、青少年の育つ社会環境の健全化に向けてさらに貢献できると確信します。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

23期に向けて

県協議会副会長 石井 一也



近頃また「いじめ」に端を発し、重大な問題へと進んでいくケースが多く報道されています。暴力、虐待、そして自殺へ・・・。

これらの事件は決して対岸の火事ではなく、身近にも発生しています。世情を反映してか青少年を取り巻く環境の著しい変遷は多岐にわたり、年々凶悪化しているの

が現状ではないでしょうか。

このような問題は、ただ単に青少年だけの問題としてではなく、生涯教育の一環として位置づけ、社会全体で対応していかななくてはならないものだと思います。

私たち青少年指導員は県・市町村より委嘱を受け「青少年の健全育成を図る」ことを一つの目的として活動しておりますが、社会全体と青少年を結ぶ大切な役割を負っていることを再認識して23期に臨みたいと思います。

青少年は地域社会から育む

県協議会副会長 石橋 博



未来を担う青少年が健やかに成長することは、国民全ての願いであります。

しかし経済が不安定で先が見えない中で、少子高齢化、社会の情報化も進んで人と人が直接触れ合う機会が失われてきているのではないのでしょうか。

地域社会が青少年を育てるとい

う環境になっていないのではないかと、実感しています。我々は子どもの思い出づくり、未来づくりのために、まだまだやらなければならない事がたくさんあるのではないのでしょうか。

今までたくさんのイベントを企画し、20年間、現在も継続しているものもあります。

最近では友達同士の参加がほとんどなく、家族での参加が多く、しかも低学年の参加が目立ちます。

少子化社会が進んでいるのを実感しました。

豊かさを求めるあまりに子どもは少ない方が楽だと言うのは、寂しい気がします。

今できることは……

県協議会理事 市丸 克己



インターネットや携帯電話の普及、また幼児虐待やいじめ問題等、青少年を取り巻く環境は厳しさを増しています。

我々も現状を正しく把握し理解して取り組まなければならないと思います。

私たちの大きな活動は、青少年に“元気に・明るく”語りかけ、

そして一緒に知恵を出し合い汗を流す事ではないでしょうか。

子どもたちが未来に向けて夢を持ちながら元気に邁進できるように、今やらなければならないことを真剣に考えながら、皆さんと力を合わせて頑張りますので宜しくお願いします。

私のモットーは「元気に・明るく・楽しく活動を」
「感謝と感動をありがとう」

青少年から得た感動

県協議会理事 小林 壽志



青少年指導員として、学校と地域との連携強化や青少年が活躍できる機会作りに取り組んできました。

青少年からも多くの感動をもらい、地域のなかで一緒に行事を進めて、交流も沢山することができました。

青少年が持っている限りなき力を発揮できる場をこれからも一緒に作っていきたくです。

平成25年度の神奈川県青少年指導員大会は、横須賀・三浦地域担当で逗子市での開催が予定されております。

青い海と緑豊かな山に囲まれた逗子へ是非お越しください。

子どもたちのために

県協議会理事 亀井 善夫



子どもの小学校入学を期に青少年指導員を拝命し、早いもので19年目になりました。「自分のできる限り一生懸命」をモットーに始めましたが、そのスタンスは今も全く変わりません。

子どもの頃の思い出は一生の財産です。

「親子で作った夏休み工作」

等、青少年指導員の方々が実施されている行事が大変役立っている事は疑い有りません。

このような家族の輪が、家庭・学校・地域の輪の基礎ではないかと思えます。

一方、このような地域の活動に無関心な親が居られることも事実であり残念でなりません。今後は、青少年指導員の広報活動にも力を入れ、青少年の健全育成が進捗することを願い、努力したいと思えます。

新理事として

県協議会理事 高島 和之



この度、県西地域より理事に就任しました高島です。宜しくお願いいたします。

私が青少年指導員になってから現在に至るまで数多くの子どもたちと接し、また沢山の仲間と思いを同じくして活動してきました。

今、県協議会理事になったことで、これまでの活動を糧に何か少しでも役に立てることがあればと思いながら務めていく所存です。

毎日のように報道されているいじめや暴行による被害につきましても、県協議会として何が出来るだろうかとも考えています。

今後は、各地域の青少年指導員の皆様とさらに交流を深め、情報交換をしながら共に活動していければと思っています。

青少年指導員のPRについて

県協議会事務局

県青少年指導員連絡協議会では、皆さんに「青少年指導員」の存在や活動をもっと知っていただくよう、PRについて検討を行っています。

このため、各市町村連絡協議会あてにキャッチコピー

や啓発物品についてアンケートを行い、たくさんのアイデアをいただきました。ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見は7月末に行われた県協議会理事会に報告し、皆さんからのアイデアをもとに、より良いものを作るため引き続き検討していくことになりました。今年度中には、神奈川県青少年指導員のキャッチコピー等を決定する予定ですので、青少年指導員の皆さんも、日頃の活動で「青少年指導員」の積極的なPRをお願いします。

平成24年度青少年の健全育成を進める県民大会



オープニング（県立多摩高等学校）

平成24年7月14日（土）川崎市高津市民館ホールにおいて、「社会全体で青少年を守り・支え・育てよう～今、地域でできること～」というテーマで青少年の健全育成を進める県民大会が開催されました。

大会は、洗足学園高等学校の生徒の司会進行で進められ、オープニングの県立多摩高等学校の合唱で始まりました。素晴らしいステージで、「時間が短すぎる。2曲では少なすぎる」との声が多数寄せられました。

続いて、コーディネーターの日本女子大学の田中教授の司会で、パネリストの活動報告、地元の高校に在学中の青少年パネリストを交えたパネルディスカッションへと進みました。

山根誠さんは、NPO法人「親がめ」の活動体験を中心に「青年期は突然訪れるのではなく、連続した育ちの中に成長がある」、「青少年のことを知るためには、自分自身を振り返るとともに、一方では、大人としての分別が必要」と発言されました。

金俊一郎さんは、高津区地域教育会議の活動を報告しながら、断ち切られた人間関係のつながりを見直し、「『日本人的感觉』をもう一度振り返り、何が出来るかを考えてみたい」と発言されました。

庄司佳子さんは「まず体験し、その中から感じたりすることを大切にしてもらいたい」と矢上川での活動を続けてきたが、今日の話聞いてこれからは「子どもたちが参加しやすくする場をつくるという視点に立った企画が大切になる」と発言されました。

青少年パネリストは、理想的な大人として、「普段はやさしく接し、いざというときにはきっちり叱る、メリハリのある大人」を掲げ、大人は「自分が知らないことも知っていることも多い」、「住んでいる地域から離れた高校に行く場合が多く、地域の大人との付き合いが難



司会（洗足学園高等学校）

しくなる」と発言しました。

また、「大人が私たちのために色々な活動をしている」ことを自覚することができ、「これからは、自分から活動に参加して大人とかかわる機会をつくる」ことも大切と発言しました。

最後に田中教授が今日のポイントとして、「子どもたちは成長しても、地域に居場所や役割があれば地域とのかかわりを持ち続けることが出来るので、ボランティア体験等を地域の内外でできる場を大人は提供するように努めるべき」、「単なる社会への適応能力だけでなく、子供自身が現在の社会を客観的批判的に観察する力を養うことが大切」とまとめられ、パネルディスカッションは終了しました。

最後に、神奈川県青少年社会環境健全化推進会議の鈴木勝雄会長が閉会の言葉を述べられ、大会は終了しました。



パネルディスカッション

地域で育もう！子どもの社会性

～地域の中で、子どもの役割や出番を、もっと増やしてみませんか？～

青少年に係る課題の根底を成す問題の一つとして、子どもの社会性やコミュニケーション力の不足が指摘される中、青少年の指導、育成等に関する県の施策の重要事項について調査・審議する神奈川県青少年問題協議会は、低年齢（4～12歳くらい）のうちから、子どもの身近な地域において、子どもの社会性を少しずつ育てていくことの大切さについて審議を行い、以下の10の視点を提案するとともに、「子どもの社会参画をすすめるための実践例・ポイント集」を作成しました。

実践例・ポイント集は、本協議会のホームページからダウンロードできますが、青少年支援・指導に携わる方には、冊子を無料でお配りすることができますので、県青少年課へお問い合わせください。

○神奈川県青少年問題協議会のホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5326/>

(問い合わせ 県青少年課企画グループ 電話(045)210-3840)



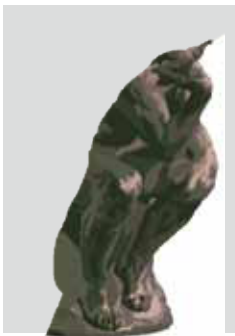
地域で子どもの社会性を育むために重要な10の視点

- 1 大人がまず自ら行動し、子どもを巻き込む
- 2 子どもと大人とが、互いによりパートナーとなって一緒に取り組む
- 3 自分にできることを見つけたり、作り出していく気持ちを育てる
- 4 達成感・充実感を味わえる経験を増やし、子ども自身の潜在的な能力を引き出す
- 5 異なる年齢・世代・立場の人が交流する
- 6 実際の社会に関わりながら、社会への関心や具体的な行動につなげていく
- 7 全ての子どもの知ってもらい、参加してもらう
- 8 協力者とは、互いのメリットとなる関係になるよう工夫する
- 9 子どもの気持ちを深く理解した上で、関係者を調整し提案できる人を取組に加える
- 10 大人や子どもが継続して参加できるように、活動の核となる場所を定める



～子どもよ、若者よ ひとりで悩まないで、まずは相談～

かながわ子ども・若者総合相談センターは、子どもや若者が抱える様々な悩みの一次相談窓口です。



- ◇中退したが、これからどうしよう？
- ◇自立しなさいって言われても…。
- ◇夜遊びをして家に帰らない。
- など

本人はもちろん保護者等もOK！

かながわ子ども・若者総合相談センター
(神奈川県立青少年センター)

相談電話 045-242-8201
時間 9:00～12:00、13:00～16:00
(火曜日～日曜日)

就労などの自立に向けた支援は 県西部地域若者サポートステーションへ

「仕事が長続きしない」「自分にあっている仕事何か分からない」などの悩みを抱える若者に対し、自立への後押しをしています。具体的には、経験豊富なキャリアカウンセラーや臨床心理士が、相談者とともに、一人ひとりに合ったプログラムを作成し、就活・職業セミナー、農園作業体験などを通して自立に向けた力を付けていきます。



県西部地域若者サポートステーション
電話 0465-32-4115

利用時間 10:00～17:00 (火曜日～土曜日)

所在地 小田原市城山1-6-32

(JR・小田急「小田原駅」から徒歩約3分)



神奈川県警察スクールサポーター

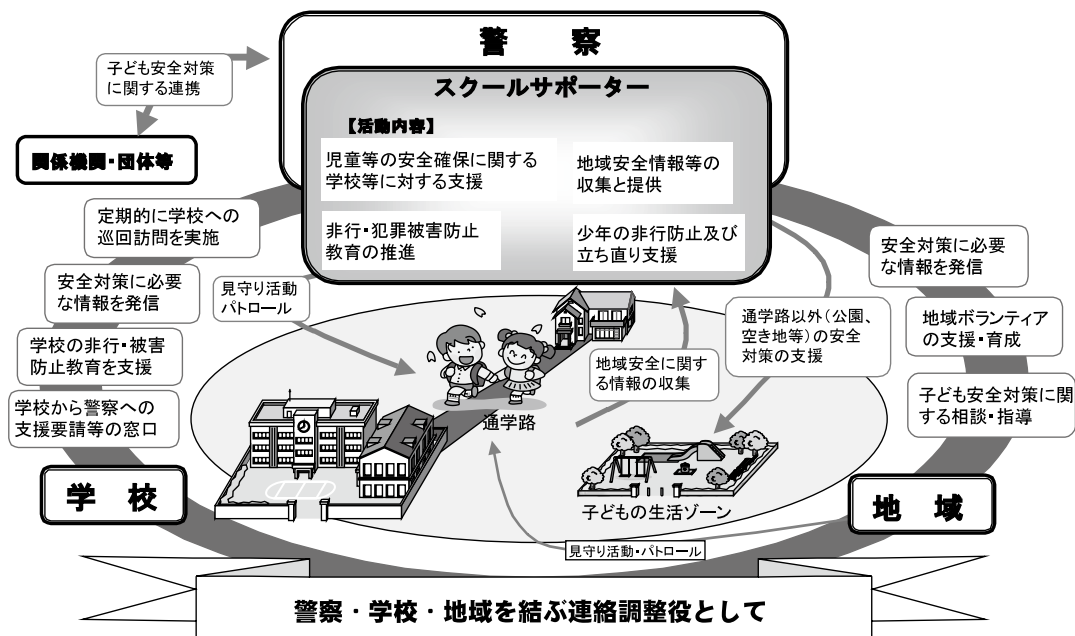


スクールサポーターは、各警察署生活安全課に配置されている非常勤職員（警察官OB）です。

- 定期的に学校を訪問して、いち早く学校やその周辺における危険箇所や子どもに関する犯罪情報等を把握し、適切な助言・指導を行います。
- 警察・学校・地域を結ぶ連絡調整役として、相互の連携を強化し、地域全体における子どもの安全対策の活性化や少年非行防止活動を行います。
- 警察から、あらゆる機会を通じ、様々な手段で子どもに関するタイムリーな情報を発信して、子どもの安全確保を図ります。

活動内容

- 児童等の安全確保に関する学校及び地域に対する支援
通学路の安全点検や登下校見守り活動を行います。
- 地域安全情報等の収集及び提供
学校訪問や会合に出席し、不審者による児童への声掛け事案などの情報を提供します。
- 少年の非行防止教育及び犯罪被害防止教育の推進
学校から依頼を受け、万引きや薬物乱用を防ぐ少年非行防止教室、誘拐やインターネット・携帯電話に関わる犯罪被害を防ぐ防犯教室などを行います。
- 少年の非行防止活動及び立ち直り支援活動
非行からの立ち直りに向け、学校や保護者にアドバイスを行います。また、地域ボランティアの方たちと協力して街頭補導活動を行います。



子どもを取り巻くインターネット環境の安全安心を考えよう!!

～ サイバー犯罪防止シンポジウムを開催 ～

多くの子どもたちが、インターネットを公園や空き地と同様な遊び場としたり、友達との交流をはかる手段とするなど、日常生活の一部としていますが、その一方で、子どもたちがサイバー犯罪等に巻き込まれるリスクも高まっています。

また、子どもたちの成長過程において、人格形成や規範意識等にインターネットが少なからず影響を与えることが考えられます。

更に最近では、スマートフォンから子どもがインターネットを利用する姿を見かけるなど、子どもを取り巻くインターネット環境は急激に変化しています。

そこで、神奈川県警察では、「子どもを取り巻くインターネット環境の安全安心を考えよう!!」と題し、サイバー犯罪防止シンポジウムを開催いたします。

子どもたちを守るために、子どものインターネット利用の問題点を知り、どの様に子どもを見守るべきかについて、いっしょに考えましょう。



今の子どもたちは生まれた時からインターネット環境が周りにあります

サイバー犯罪防止シンポジウムin Yokohama 2012

【日程】10月18日(木)13時半～16時(受付13時開始)【場所】戸塚公会堂(横浜市戸塚区戸塚町127)【参加費】無料【お問合せ】神奈川県警察本部サイバー犯罪対策センター(電話045-211-1212内線:3494 担当: 刃野、横山)

横浜

港南区こどもフォーラム2012

— 夢を描き 夢をカタチにする —

横浜市港南区青少年指導員協議会 会長 宮城裕子

港南区の子どもたちの元気な成長を願って、区内の青少年関係団体で結成された「港南区青少年健全育成を推進する会」の取り組みの1つです。

港南区内の学校（小学校21校、中学校10校）より、各学校代表として選ばれた「運営委員」が、10グループ（中学校区）に分かれて地域の協力者（※1）や担当教諭と連携しながら、地域（※2）の中で活動します。



【港南区こどもフォーラム2010報告会資料】

“身近な地域に目を向けて、どのような地域にしていきたいのかを夢に描き、提案し合い、行動に移す”

まずは、地域の施設（自治会館、集会所、地区センター、コミュニティーハウスなど）を活用し、地域の人たちから話を聞いたり、実際に地域を歩いたりしながら、地域のことを調べます。

そしてそこから見えてきた「地域」について、これをよりよくするための「夢」を運営委員各人が描き、提案し合い、グループごとの夢として1つを選定し、これを叶えるために自分たちなら何が出来るのかを考え、行動に移していくというものです。

子どもたちが地域に対して描いた夢と、その実現を目指して活動した成果…。

11月23日（金）の報告会が今から楽しみです。

※1「地域の協力者」…地域で青少年健全育成の活動をしている人たち（「青少年指導員」「子ども会」「PTA」「少年補導員」「主任児童委員」）のことです。

※2「地域」…子どもたち自身が住んでいる身近なまちのことです。

活動ガ

横須賀三浦

『非行防止キャンペーン』

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会 広報研究部長 小川輝夫

私たちの協議会では、7月の青少年の非行・被害防止全国強調月間と11月の子ども・若者育成支援強調月間に、非行防止キャンペーンを、京浜急行線の駅周辺等10箇所の街頭で行っております。

このキャンペーンは、7月に3箇所、11月に7箇所で開催しており、中学生、高校生の参加と青少年育成活動地域連絡会（学校関係者、保護司、民生・児童委員、町内会長および町内育成担当者等）の協力を得て実施しています。

今年も7月に横須賀中央（7日）汐入（21日）追浜（28日）の各駅周辺で行い、中学生・高校生84名、学校関係者18名、青少年育成活動地域連絡会84名の総計186名が参加しました。参加者は「非行防止キャンペーンを行っております」「ご協力ください」という呼びかけと同時に、啓発用のチラシ、ティッシュと風船を歩き交う人たちに配布しました。

人一倍大きな声で積極的に呼びかけを行っていたのは、中学生・高校生でした。キャンペーン終了後に、彼らに感想を聞いたところ、「呼びかけするのに最初は声

が小さく、恥ずかしかった」「だんだんと、場慣れして、ティッシュを受け取ってくれたときは嬉しかった」等と語ってくれました。

このキャンペーンを通して彼らは社会貢献のすばらしい体験をしたと感じました。私たちも、引き続き、彼らに応えられるような地域活動を進めていきたいと思っております。



【非行防止キャンペーンの様子】

県 「心からの笑顔で…」

綾瀬市青少年指導員協議会 副会長 小菅総子

綾瀬市では、毎年7月に「綾瀬市ふれあいナイトウォークラリー大会」を開催しています。今年で第20回を迎えました。

歩くことを楽しみ、市内の環境に親しみながら設定した時間（隠しタイム）を目安にコマ地図のコースを歩きゴールします。

3 km: 2 コース、4 km: 2 コースの4コースを合計100チーム募集しますが、今年も30チーム程のキャンセル待ちが出る人気事業です。

ゴール後のアンケートでは「来年も参加したい」「楽しかった」「これからも続けてほしい」・・・と大好評でした。

また、夜間に行うので参加者の安全確保のため、毎年危険箇所の誘導等で市内関係団体より150名程のご協力もいただき実施しています。

チームで協力しあいゴールする中で、綾瀬の新たな一

面を発見したり、家族や仲間とふれあうことで世代間の交流が実感できる大会となるよう取り組んでいます。

そして、充実した活動に向け青少年指導員として資質の向上はもちろんのこと、心からの笑顔で明るい活動を目指していきたいと思っています。



【みんなで仲良くスタート!】

ンパっています!

～地域活動報告～

相模原 市連協の「春夏秋」

相模原市青少年指導員連絡協議会 会長 市丸克己

相模原市の青少年指導員は27地区に分かれて活動をしています。

各地区のジュニアリーダー養成事業、公民館まつり、こどもまつり、ふるさとまつり、健全育成事業など様々な活動を展開しています。

主な活動としては

【春】

・市民さくらまつりに参画。

今年はさくら満開の中、4月7日～8日に開催され、多くの青少年指導員の参加を得て、

《創作》ひっくりかえる・ぶんぶんごま《魚釣り》手作りの新鮮な魚を、これまた手作りの海の中から釣り上げる体験《スポーツチャンバラ》の三つのコーナーを設け、各コーナーとも子どもたちの行列が出来る程の人気がありました。そんな中で、体験学習の指導、道具や物の使い方などを通して元気に・明るく・楽しく交流することができました。

【夏】

・子ども会交歓スポーツレクリエーションの参画。

今年は5月19日に淵野辺公園で開催され、創作コー

ナーとして、細長く丈夫なビニール袋でロケット製作の指導と遊びの指導をしました。大勢の子どもたちが相模原から元気を大空に発信して、楽しい一日を過ごすことができました。

【秋】

・青少年指導員三二運動会（9月）、相模原市スポーツフェスティバル（10月）、親子ふれあい広場への参画（11月）。現在は各事業とも着々と開催に向け準備進行中です。

地区活動と共に市連協活動も「元気に・明るく・楽しく」をモットーに、感謝と感動を子どもたちと共有できるように英知と行動力と創意工夫で活動を進めています。相模原から元気が発信できるように。



【市民さくらまつり「魚釣りコーナー」】



かもめ通信

(平成24年10月～平成25年3月の予定)

◆横浜市

- 神奈川区小学校音楽フェスティバル
12月15日(土) 10時～16時
神奈川公会堂
神奈川区内の小学校15校が参加予定
- 第6回西区ハマのウォーキングフェスティバル
～江戸から平成へタイムスリップ～
12月9日(日) ※荒天時中止
歴史ポートサイドコース(約10km) 9時30分スタート
野毛坂からみらいが見えるコース(約5km) 10時スタート
【スタート】戸部公園 【ゴール】みなとみらい臨港パーク
- SAKAEヤングフェスティバル2013
25年3月24日(日) 9時45分～15時
本郷台駅前広場・本郷台駅前公園
栄区内の中学生が、青少年指導員とともにステージや模擬店を企画・運営。

◆川崎市

- 10月無灯火自転車指導活動
10月11日(木) 19時～ 雨天中止
川崎市南町交番前
川崎警察署と連携し、自転車の無灯火走行防止を呼びかける。
- ふれあいファミリーウォーク
11月18日(日) 雨天中止
多摩川河川敷ほか
地区内の子どもとその親を対象に開催。
稲毛公園を発着とし、多摩川(多摩川大橋)を経由。
- 第17回多摩川ファミリーウォーキング
11月18日(日) 雨天中止
多摩川河川敷ほか
地区内の子どもとその親、または団体引

- 率者を対象に開催。大師公園を発着とし、多摩川(大師橋～六郷橋)を経由。
- 第45回大師地区書き初め大会
25年1月6日(日)
地区内の青少年を対象に、幼児から高校生まで6種の題字を設け実施。後日、優秀作品を選定・表彰し、展示を行う
- 第7回こどもとふれあう紙ヒコーキ大会
25年2月24日(日)
川崎市立下平間小学校体育館(予定)
小学生を対象に、主催者の用意した紙で指定した紙ヒコーキを折り、飛行距離を競う
- 第23回中原区青少年吹奏楽コンサート
11月3日(土・祝)
川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)
中原区内中学校・高等学校吹奏楽部による演奏、同有志による合同演奏
- 第10回ふれあいミュージックフェスタ
25年2月3日(日)
多摩市民館 大ホール
生田地区の小・中学校生徒による合唱や吹奏楽とPTAによるコーラス
- 第2回多摩・麻生地区中学生バスケットボール大会～スプリングカップ～
25年3月10日(日)
多摩スポーツセンター
多摩・麻生区内の中学1年生が学校ごとに男女に分かれ試合を行う

◆横須賀市

- わんぱくフェスティバル2012
10月21日(日) 10時から14時30分
県立保健福祉大学(横須賀市平成町)
青少年育成推進員連絡協議会など7団体による実行委員会を中心とする模擬店や子どもたちのステージ発表、各種体験コーナーなど

◆逗子市

- 逗子市青少年会館まつり
11月4日(日) 10時～15時
逗子市青少年会館

- 青少年及び青少年会館利用団体の日頃の活動の発表、相互交流及び会館の周知
- 第12回ずし青少年フォーラム
11月10日(土) 13時30分～16時15分
逗子市役所
青少年を取り巻く様々な問題や現状について、様々な世代の人たちが意見交換を行う。
- 第17回中高生ディベート大会
25年1月26日(土) 10時～16時
逗子市役所
中高生の意見表明の機会づくり等を目的として、討論のスポーツディベートを行う。

◆大和市

- 青少年センターまつり
12月2日(日) 10時～15時
大和市青少年センター
体育室におけるステージ発表・作品等の展示・活動実演・模擬店の実施・ゲームコーナーの実施など

◆藤沢市

- JUMP UP U-20 WINTER CONCERT
12月22日(土) 12時30分開演予定
湘南台文化センター
20歳以下の青少年バンドによるロック・ポップスコンサート

◆小田原市

- 青少年と育成者のつどい
12月1日(土) 9時30分～
小田原市生涯学習センターけやき
中学生が将来の希望などを主張し広く市民に訴える。

◆山北町

- ライブ・イン・山北
12月16日(日) 13時30分～
山北町立中央公民館
足柄上地区の高校、5校の軽音楽部を招きライブを開催。高校生が主体となりステージを作り上げる。

第45回青少年指導員大会開催

平成24年度青少年指導員大会は、12月2日(日)13時から、横浜市の関内ホールで開催されます。

大会テーマは「育てよう、未来を託す青少年」。横浜市青少年指導員連絡協議会の皆さんが力を合わせて、大会の準備を進めています。

オープニングは、全国レベルの活躍を続ける横浜市旭区の中沢小学校合唱団が参加します。活動事例発表は、横浜市神奈川区と横浜市南区の青少年指導員の皆さんに、日ごろの取組をご紹介します。

また、講演会は、面白さが評判をよんで年に400回に及ぶ講演を行っている奈良薬師寺執事の犬谷徹英氏を講師に迎え、「幸せの条件」をテーマに、地域活動の困難さや喜びを講師の体験談を交えてお話しいただく予定です。

関内ホールは、横浜市営地下鉄及びJR京浜東北根岸線の「関内」駅又はみなとみらい線の「馬車道」駅から徒歩数分です。駐車場は確保していないので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

違法ドラッグについて

○違法ドラッグとは
法律で定められた言葉ではありませんが、人が摂取すると、陶酔感・幻覚・興奮作用などを高めると称して販売されている製品のことで、麻薬や覚せい剤と異なり、法律で所持や使用、譲渡等が禁止されていないため、かつては「合法ドラッグ」とも呼ばれていましたが、「法の規制の間をすり抜けた薬物」、危険性の高い薬物ということで、「違法ドラッグ(いわゆる脱法ドラッグ)」と呼んでいます。

○違法ドラッグの危険性
違法ドラッグ(いわゆる脱法ドラッグ)は現在薬事関係法規の規制をすり抜けていることから、容易に使用されやすく、覚せい剤・大麻などへの入門(ゲートウェイ)ドラッグとも言われています。しかし、強い有害な作用や習慣性を持つものも多く、人体に使用すると健康被害が生じる恐れがあり、非常に危険です。

編集後記 つばさ編集委員 畠中 正夫
23期つばさ編集に携わることになり、青少年指導員に伝えたい事、覚えて欲しい事、この「つばさ」を通じて多くの皆さんに知って欲しいと思います。
近頃、次から次へと新しい物事が、青少年の心や身体を蝕む多くの事件が発生しています。私達青少年指導員は、日々新しい情報とそれについての勉強をし、対策を考え指導していかなければなりません。
この紙面を通じて現状を伝え、これからも神奈川の青少年の未来の為に活動したいと思います。

「つばさ」第23期編集委員
畠中 正夫 横浜地域 鈴木 浩子 川崎地域
加藤 弘子 相模原地域 高田 和彦 県西地域
亀井 善夫 担当理事